

**重要**

## 「スーパードラゴン」ご利用前の手続きについて

このたびは、「スーパードラゴン」をご購入いただき、誠にありがとうございます。  
気象庁からの緊急地震速報の配信を受けるためには、下記書類のご提出が必要です。  
必要事項をご記入の上、取扱店もしくは弊社までご提出いただけますようお願い致します。  
ご提出が遅れますと、出荷などの遅延となる場合がございます。速やかなご提出にご協力お願い致します。

- ★以下の申込書類(別紙No.1、No.2)をFAXもしくはメールにてご返信下さい。
- ★当書類は、1台につき1式のご提出が必要となります。
- ★原本はお客様控えとして、お手元に保管下さい。
- ★記入方法につきましては、その他資料(別紙No.5～No.8)をご覧ください。

FAX番号：0742-53-7795

E-mail: info7774@jjjnet.com

### 1. 申込書類 (別紙No.1)・・・FAXもしくはメールにてご返信下さい。

設置住所に誤りがございますと、予測震度・猶予時間にズレが生じますので、正確にご記入下さい。  
また、契約者名と設置場所が異なる場合には、必ず、設置場所欄にもご記入下さい。  
別紙 No.4の内容をご確認の上、認印をご捺印、原本はお客様控えとし、FAXもしくはメールにてご返信下さい。

### 2. 申込書類 (別紙No.2)・・・FAXもしくはメールにてご返信下さい。

ご連絡先情報は正しくご記入いただき、変更があった場合には、速やかにご連絡をお願い致します。  
別紙 No.4の内容をご確認の上、ご記入いただき、原本はお客様控えとし、FAXもしくはメールにてご返信下さい。

### 3. 設定確認シート (別紙No.3)・・・FAXもしくはメールにてご返信下さい。

納品時の設定内容を、当日までにご検討下さい。  
出荷時にて設定を御希望のお客様は、申込書類(No.1 No.2)といっしょにお送り下さい。

### 4. 参考資料 (別紙No.4)

緊急地震速報/津波速報/緊急警報放送/訓練報に関する理解、免責事項及び守秘義務について

### 5. その他資料 (別紙 No.5 ～ No.8)

別紙 No.5～8には、申込書類記入時記入例、接続環境及び放送設備との接続、津波予報区域、設定確認シートの説明書が明記されております。

総発売元



緊急地震速報のリーディングカンパニー

株式会社 J コーポレーション

総合窓口 0742-53-7833

業務管理センター

奈良県奈良市押熊町557-7 4F

申込書類 (別紙No.1)

申込日 年 月 日

※太線内はお客様でご記入し、本書はお手元に保管し、弊社にFAXもしくはメールにてご返信下さい。

別紙 No.4の内容を確認・同意の上、下記内容にて申し込み致します。

ご利用者様名 (捺印は認印で可能)	会社名 (印)	担当者名
	(ふりがな)	(ふりがな)
	住所 〒	
	電話番号	FAX

★ 上記と登録場所と設置場所が異なる場合のみ、記入してください ★

設置場所 (登録場所と同じ場合は記入不要)	会社名	担当者名
	(ふりがな)	(ふりがな)
	住所 〒	
	電話番号	FAX

回線種別	<input type="checkbox"/> :光 <input type="checkbox"/> :ADSL <input type="checkbox"/> :CATV <input type="checkbox"/> :ISDN <input type="checkbox"/> :その他( )
利用環境	<input type="checkbox"/> :社内ネットワーク <input type="checkbox"/> :緊急地震速報の為に別途回線を用意 <input type="checkbox"/> :その他( )
利用IPアドレス	<input type="checkbox"/> :自動IPアドレス <input type="checkbox"/> :固定IPアドレス (固定IPを選択した場合は下記欄へもご記入も下さい)

★固定IPアドレスを選択した方は以下もご記入下さい ★納品時はルーター等の設定が出来る方の立会が必要です

ネットワーク管理者	会社名	部署名
	担当者名	電話番号
固定IPアドレス(プライベート)	IPアドレス . . .	DNS設定
	サブネット . . .	プライマリ . . .
	ゲートウェイ . . .	セカンダリ . . .
PROXY設定	<input type="checkbox"/> :使用する (選択した場合は下記欄へも記入)	<input type="checkbox"/> :使用しない
★PROXY設定使用するを選択した方は以下もご記入下さい		
PROXY IPアドレス・ポート番号	IPアドレス . . .	ポート番号
ユーザーID・パスワード (BASIC認証)	ID	パスワード

津波設定	<input type="checkbox"/> :する <input type="checkbox"/> :しない ※希望する方は→ コード【 】 区域名【 】
------	---

※別紙8-2予報区コード表参照

----- 以下、弊社及び取扱店 記入欄 -----

弊社記入欄	申込日 年 月 日	サービス開始希望日 年 月 日
スーパードラゴン ID-No.	EQ -	MACアドレス : : : :
出荷時設置情報	北緯 東経	地盤増幅率 Ver.
導入月/保証期間	導入月 年 月	保証期間 年 月 末日 まで

取扱店記入欄	取扱店名	電話番号
--------	------	------

## 申込書類 (別紙No.2)

※太線内はお客様でご記入し、本書はお手元に保管し、弊社にFAXもしくはメールにてご返信下さい。

別紙 No.4 の内容を確認・同意の上、下記内容にて申し込み致します。

設置場所名	会社名	担当者名
-------	-----	------

☆メンテナンス保守料のお支払に関するご担当者様をご記入ください

ご担当者様情報	会社名	担当者名
	部署名	電話番号
	住所 〒	

メンテナンス保守料は前払い制となっております。支払方法は以下の、いずれかを選択してください。(価格は税抜)

<input type="checkbox"/> 10,000円 毎月払い	銀行自動引落(翌月分を当月28日引落(金融機関休業の場合は翌営業日) ★手続き用紙を上記ご担当者様に郵送
<input type="checkbox"/> 118,000円 1年分先払い	配信開始後、1年分の請求書が届きます。以後、毎年ご契約満了月に翌年度のご請求書が届きます。
<input type="checkbox"/> 568,000円 5年分先払い	配信開始後、5年分の請求書が届きます。5年後の満了月に弊社より満了のご連絡を致します。

**注意事項**

- \* 中止をご希望のお客様は、中止希望月の10日までに、お電話にてご連絡をお願いします。10日をすぎた場合は、翌月末の中止となります。
- \* 止むを得ず中止をされた場合、5年分先払いのみ年単位で返金します。例:2年10ヶ月で中止⇒227,200円の返金
- \* 消費税等の税率に改定があった場合には、その施工日をもって改定後の税率によりその金額を計算するものとします。

☆下記の表は配信サーバーと本体の接続状態を遠隔で監視し、通信障害が発生した場合 10分後にメール連絡、15分後に電話連絡をするものです。(メンテナンス情報などもお送りします)

遠隔監視:弊社営業日9:00~18:00(土・日・祝日・夏季・年末年始を除く)

★切断・接続メールの配信元アドレス j\_error\_master@jjjnet.com の受信をお願いします。

No.1 登録情報が変更になった場合には必ずご連絡ください <b>※変更はWEB上で可能</b>	会社名(部署名)	担当者名
	電話番号	携帯番号 FAX番号
	メールアドレス	
No.2 登録情報が変更になった場合には必ずご連絡ください <b>※変更はWEB上で可能</b>	会社名(部署名)	担当者名
	電話番号	携帯番号 FAX番号
	メールアドレス	

※上記アドレスに認証メールをお送りします。認証をしていただかないと監視をスタートすることができませんので認証(クリックのみです)を必ずお願いします。

# スーパードラゴン設定確認シート (別紙No.3)

説明書を参照の上、FAXもしくはメールにて弊社までご返信ください ※空白は初期値での出荷となります

■ご利用者情報 **J** コーポレーション宛 FAX 0742-53-7795 mail: info7774@jjjnet.com

会社名( )	ご担当者( )
--------	---------

■震度 ※初期値: 3 ■ネットワーク機器制御 ※初期値: OFF

震度( ) ※この震度は、出力【CH1】の震度になります	<input type="checkbox"/> ON	<input type="checkbox"/> OFF
------------------------------	-----------------------------	------------------------------

■津波 ※初期値: 受信しない ※希望される方: 警報以上

<input type="checkbox"/> すべて受信	<input type="checkbox"/> 大津波警報以上	<input type="checkbox"/> 津波警報以上	<input type="checkbox"/> 注意報以上
地域コード( )	区域名( )	※別紙予報区コード表を参照	

■警報アナウンス ※初期値: TYPE 1 3回 予告ON

アナウンス内容	<input type="checkbox"/> TYPE 1	<input type="checkbox"/> TYPE 2	<input type="checkbox"/> TYPE 3	<input type="checkbox"/> TYPE 4
カウントダウン ゼロの後の音声繰り返し回数( )回				
テスト配信の予告アナウンス	<input type="checkbox"/> ON	<input type="checkbox"/> OFF		

■発報基準の精度選択 ※初期値: テリトリー(2点)

<input type="checkbox"/> テリトリー(1点)	<input type="checkbox"/> テリトリー(2点)	<input type="checkbox"/> グリッドサーチ(3・4点)	<input type="checkbox"/> グリッドサーチ(5点)	※初期値: テリトリー(2点)
------------------------------------	------------------------------------	--	--------------------------------------	-----------------

■出力 ※CH2、CH3 初期値: 制御しない(接続なし) ※CH2、CH3 津波 初期値: 接続なし

音声頭切れ防止時間( )秒	1秒～1.6秒までの範囲でご記入ください	※初期値: 1秒			
CH1	<input type="checkbox"/> 放送機器	<input type="checkbox"/> その他( )	※本体の震度に準じます		
CH2 (R1)	<input type="checkbox"/> 接続なし	<input type="checkbox"/> 接続あり( )	<input type="checkbox"/> 震度( )		
(R2)	<input type="checkbox"/> 接続なし	<input type="checkbox"/> 接続あり( )	R1 パルス( )秒 R2 保持時間( )秒		
津波	<input type="checkbox"/> 接続なし	<input type="checkbox"/> すべて受信	<input type="checkbox"/> 大津波警報以上	<input type="checkbox"/> 津波警報以上	<input type="checkbox"/> 注意報以上
CH3 (R1)	<input type="checkbox"/> 接続なし	<input type="checkbox"/> 接続あり( )	<input type="checkbox"/> 震度( )		
(R2)	<input type="checkbox"/> 接続なし	<input type="checkbox"/> 接続あり( )	R1 パルス( )秒	R2 保持時間( )秒	
津波	<input type="checkbox"/> 接続なし	<input type="checkbox"/> すべて受信	<input type="checkbox"/> 大津波警報以上	<input type="checkbox"/> 津波警報以上	<input type="checkbox"/> 注意報以上

■定時チャイム・発報禁止時間 ※初期値: OFF

定時チャイム	<input type="checkbox"/> OFF	<input type="checkbox"/> ON( )
発報禁止時間	<input type="checkbox"/> OFF	<input type="checkbox"/> ON( )

■音量 ※初期値: 10% ※初期値: 50%

本体音量( )%	放送機器出力音量( )%
----------	--------------

■予測手法 ※初期値: IPF法+PLUM法(ハイブリット方式)

<input type="checkbox"/> IPF法+PLUM法(ハイブリット方式)	<input type="checkbox"/> IPF法のみ
---	---------------------------------

----- 以下 設置業者 記入欄 -----

日付: 年 月 日 機器ID: (EQ )

設置業者名: 電話番号: 担当者: サイン

参照  
↓

A H

A

B

C

D

E

F

G

I

J

## 参考資料（別紙No.4）

### ご利用にあたっての確認事項の同意

緊急地震速報受信端末及び周辺機器のご利用にあたっては、下記内容に同意したものとみなします

#### 《緊急地震速報/津波速報/緊急警報放送/訓練報に関する理解、免責事項及び守秘義務について》

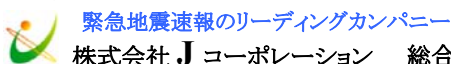
緊急地震速報、津波情報（津波注意報・津波警報・大津波警報）及び緊急警報放送は以下まとめて「地震速報等」という

気象庁訓練報、本体操作による防災訓練・試験放送、及び配信サーバーからの防災訓練・試験放送は以下まとめて「訓練報」という

01. 地震速報等は災害対策意識付けを目的とするものであり、利用者等の安全を保障するものではないこと
02. 地震速報等、受信端末及び周辺機器等を使用したことにより発生した損害を補償しないこと
03. 緊急地震速報には「高度利用者向け」「一般向け」と2種類あり、それぞれが提供する情報内容を理解していること
04. 地震速報等には技術的限界（通報が間に合わないことがある、震度及び猶予時間の推定には誤差がある、誤報もありうるなど）があること、及びそれに伴うことで発生した損害を補償しないこと
05. 地震速報等の利用方法については、技術的限界も踏まえて検討／決定する必要があること
06. 地震速報等を有効に利用するためには、情報の伝達を受ける方に対する教育や情報利用に係る訓練が必要であること
07. 地震速報等の特性、限界、適切な利活用方策を理解していない者に提供した場合には、混乱や事故が発生する可能性があること、及びそれに伴うことで発生した損害を補償しないこと
08. FM電波を利用する受信端末では、FMラジオ局の放送内容によっては地震速報等が受信できない場合や、受信端末が誤動作する場合もあること、及びそれに伴うことで発生した損害を補償しないこと
09. FM電波を利用する受信端末では、地震速報等の発報基準、伝達内容は受信するラジオ局の基準になること
10. 気象状況・電波障害・インターネット障害・システム障害・受信端末などの障害による影響で地震速報等が正常に受信できないことがあること、及びそれに伴うことで発生した損害を補償しないこと
11. 使用する環境や状況（居場所、騒音など）のために地震速報等が受信できないことがあること、及びそれに伴うことで発生した損害を補償しないこと
12. 気象庁のシステム障害及び情報発信の停止などにより地震速報等が受信できなくなることもあること、及びそれに伴うことで発生した損害を補償しないこと
13. その他利用者および関連する第三者等に対して及ぼしたいかなる損害に対しても補償しないこと
14. 気象庁は毎年、11月5日頃「津波防災の日」に緊急地震速報の訓練報の配信を行っていますが、実施が確約されているものではありません、機種によっては受信できないものもあります  
訓練報の配信日時については利用者自身にて気象庁等より入手するものとする
15. 利用者は、訓練報を受信した際に、地震速報等の受信端末がどのような動作をするのか十分に理解しているものとする
16. 受信端末で訓練報を受信する/しないを含む各種設定等、及び関係者（近隣住民含む）への周知等は利用者の責任において対応する
17. 訓練報を受信した際の訓練内容、訓練報を受信することによって発生する事柄など、すべて利用者の責任において対処する
18. 訓練報によって発生したいかなる損害に対しても補償しないこと
19. インターネットを利用する受信端末で、利用者の希望により知り得た配信サーバーIPアドレスの扱いに関しては守秘義務を負うものとする

以上

総発売元



緊急地震速報のリーディングカンパニー

株式会社 J コーポレーション

総合窓口 0742-53-7833

業務管理センター

奈良県奈良市押熊町557-7 4F

# その他資料 (別紙No.5)

申込日 ○○○○ 年 ○○ 月 ○○ 日

※ 配信開始日ではありません

## 申込書類 (別紙No.1) ご記入時の注意事項

**(実印不要) 認印・社印等がかまいません**

ご利用者様名 (捺印は認印で可能)	会社名	<b>〇〇株式会社</b> 	担当者名	<b>〇〇太郎</b>
	(ふりがな)	まるまる かぶしきがいしゃ	(ふりがな)	まるまる たらう
	住所	〒631-00×× <b>△△市△△町△-△-△</b>		
	電話番号	<b>0742-53-78××</b>	FAX	<b>0742-53-77××</b>
★ 上記と登録場所と設置場所が異なる場合のみ、記入してください ★				
設置場所 (登録場所と同じ場合は記入不要)	会社名		担当者名	
	(ふりがな)		(ふりがな)	
	住所	〒		
	電話番号		FAX	

回線種別	<input checked="" type="checkbox"/> :光 <input type="checkbox"/> :ADSL <input type="checkbox"/> :CATV <input type="checkbox"/> :ISDN <input type="checkbox"/> :その他( )
利用環境	<input checked="" type="checkbox"/> :社内ネットワーク <input type="checkbox"/> :緊急地震速報の為に別途回線を用意 <input type="checkbox"/> :その他( )
利用IPアドレス	<input type="checkbox"/> :自動IPアドレス <input checked="" type="checkbox"/> :固定IPアドレス (固定IPを選択した場合は下記欄へもご記入も下さい)

★固定IPアドレスを選択した方は以下もご記入下さい★納品時はルーター等の設定が出来る方の立会が必要です

ネットワーク管理者	会社名	<b>〇〇株式会社</b>	部署名	<b>情報システム部</b>
	担当者名	<b>〇〇太郎</b>	電話番号	<b>0742-53-78××</b>
固定IPアドレス(プライベート)	IPアドレス	192 . 168 . 1 . ×××	DNS設定	
	サブネット	255 . 255 . 255 . ×	プライマリ	192 . 168 . × . 254
	ゲートウェイ	192 . 168 . 1 . ×××	セカンダリ	192 . 168 . 1 . ×××
PROXY設定	<input type="checkbox"/> :使用する (選択した場合は下記欄へも記入)		<input checked="" type="checkbox"/> :使用しない	
★PROXY設定使用するを選択した方は以下もご記入下さい				
PROXY IPアドレス・ポート番号	IPアドレス	. . .	ポート番号	
ユーザーID・パスワード (BASIC認証)	ID		パスワード	

津波設定	<input checked="" type="checkbox"/> :する <input type="checkbox"/> :しない ※設定する方は→ コード【 312 】 区域名【 東京湾内湾 】
------	--

※別紙8-2予報区コード表参照

総発売元



緊急地震速報のリーディングカンパニー

株式会社 J コーポレーション 総合窓口 0742-53-7833

業務管理センター 奈良県奈良市押熊町557-7 4F

## その他資料 (別紙No.6)

申込日 ○○○○ 年 ○○ 月 ○○ 日  
※配信開始日ではありません

### 申込書類 (別紙No.2) ご記入時の注意事項

設置場所名	会社名 <b>○○株式会社</b>	担当者名 <b>○○太郎</b>
-------	-------------------	------------------

☆メンテナンス保守料のお支払に関するご担当者様をご記入ください

ご担当者様情報	会社名 <b>○○株式会社</b>	担当者名 <b>○○太郎</b>
	部署名 <b>総務部 経理課</b>	電話番号 <b>0742-53-78××</b>
	住所 〒 <b>△△市△△町△-△-△</b>	

メンテナンス保守料は前払い制となっております。支払方法は以下の、いずれかを選択してください。(価格は税抜)

<input type="checkbox"/> 10,000円 毎月払い	銀行自動引落(翌月分を当月28日引落(金融機関休業の場合は翌営業日) ★手続き用紙を上記ご担当者様に郵送
<input type="checkbox"/> 118,000円 1年分先払い	配信開始後、1年分の請求書が届きます。以後、毎年ご契約満了月に翌年度のご請求書が届きます。
<input checked="" type="checkbox"/> 568,000円 5年分先払い	配信開始後、5年分の請求書が届きます。5年後の満了月に弊社より満了のご連絡を致します。
<b>注意事項</b> * 中止をご希望のお客様は、中止希望月の10日までに、お電話にてご連絡をお願いします。10日をすぎた場合は、翌月末の中止となります。 * 止むを得ず中止をされた場合、5年分先払いのみ年単位で返金します。例:2年10ヶ月で中止⇒227,200円の返金 * 消費税等の税率に改定があった場合には、その施工日をもって改定後の税率によりその金額を計算するものとします。	

☆下記の表は配信サーバーと本体の接続状態を遠隔で監視し、通信障害が発生した場合 10分後にメール連絡、15分後に電話連絡をするものです。(メンテナンス情報などもお送りします)

遠隔監視:弊社営業日9:00~18:00(土・日・祝日・夏季・年末年始を除く)

★切断・接続メールの配信元アドレス <a href="mailto:j_error_master@jjjnet.com">j_error_master@jjjnet.com</a> の受信をお願いします。		
No.1 登録情報が変更になった場合には必ずご連絡ください  <b>※変更はWEB上で可能</b>	会社名(部署名) <b>○○株式会社 総務部</b>	担当者名 <b>○○太郎</b>
	電話番号 <b>0742-53-78××</b> 携帯番号 <b>090-8264-××××</b>	FAX番号 <b>0742-53-77××</b>
	メールアドレス <b>soumu7774@jjjnet.com</b>	
No.2 登録情報が変更になった場合には必ずご連絡ください  <b>※変更はWEB上で可能</b>	会社名(部署名) <b>○○株式会社 管理部</b>	担当者名 <b>○○太郎</b>
	電話番号 <b>0742-53-78××</b> 携帯番号 <b>090-2265-××××</b>	FAX番号 <b>0742-53-77××</b>
	メールアドレス <b>kanri7774@jjjnet.com</b>	
※上記アドレスに認証メールをお送りします。認証をしていただかないと監視をスタートすることができませんので認証(クリックのみです)を必ずお願いします。		

# 放送設備と接続環境に関して

## 【放送設備との接続】

LINE OUT / 接点

## 【接続工事・機器設定に必要なもの】

- ①接点接続用ケーブル CPEV 等 0.5~1.2mm径程度 (単線を推奨します)
- ②音声ケーブル RCA-PIN 付音声シールドケーブル相当 (放送アンプ側端子に合わせて用意してください)  
※)2芯シールド線で接続する場合は、芯線の一方を「+」もう一方とシールド線は「-」に接続
- ③LAN ケーブル カテゴリー5 同等以上のケーブル (設置場所までの距離が必要です)
- ④電源 AC100V 設置場所付近に必要です

## 【ご注意】

ルーター (ONU 一体型ルーター)

※ 緊急地震速報専用回線をご用意いただく場合は、プロバイダー契約・ルーターのご準備が必要となります

※ DHCP 環境で使用される場合は、ルーターの DHCP 設定を有効にしてください

※ 本体の設定変更・調整が必要な場合は、パソコン・LAN ケーブルをご用意ください

(ラビットは本体で設定変更可能な為、パソコンは不要です)

注) ドラゴン・なまずを社内ネットワークでご利用の場合、同一ネットワークパソコンより設定変更いただけます

注) 弊社訪問設定時は、弊社パソコンにて設定・調整を行います。(社内ネットワークの場合、パソコンをお借りすることがあります)

※ 同一接点を複数利用する場合 (パラレル接続)

接点出力をパラレル接続すると、1つの接点で2つ以上の機器を制御出来るというメリットがありますが、機器によっては回路ショート、逆電流によりページングなどを壊す場合がありますのでご注意ください。

複数利用の場合は、接点分配器をお勧めしております。詳しくはお問合せください。

## 【通信環境】

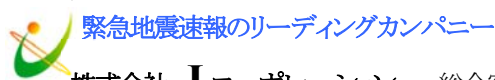
- ①インターネット回線 光・VDSL・CATV・ADSL
- ②LAN 端子 RJ-45 コネクタ (1ポート)

## 【機種別 通信・接続環境】

	スーパードラゴン	スーパーなまず	スーパーラビット
プロトコル	IPv4	IPv4	IPv4
Proxy 対応	○ (ベーシック認証方式)	○ (SOCKS4・SOCKS5 認証)	×
IP アドレス	自動 IP・固定 IP 選択可能	自動 IP・固定 IP 選択可能	自動のみ ※1
セキュリティー ポート・ポリシー	TCP : 80・443 LAN ⇒ WAN 解放 OPENVPN の使用制限なし	TCP : 80・9001 LAN ⇒ WAN 解放 UDP : 53 LAN ⇔ WAN 解放	TCP : 9001 LAN ⇒ WAN 解放 UDP : 53 LAN ⇔ WAN 解放
音声出力 (LINE OUT)	RCA-モノラル 0dB/600Ω 不平衡	RCA-モノラル 100kΩ 不平衡	RCA-モノラル 600Ω (1kHz) 不平衡
接点容量定格	定格電圧 : DC60V 250mA  定格電流 : AC100V 100mA	定格電圧 : 38V 最大電圧 : 60V 定格電流 : 1000mA 最大電流 : 1000mA	最大電圧 : 350V  最大電流 : 120mA
外部制御出力	無電圧ループ接点出力 ・ネジ式端子	無電圧ループ接点出力 ・スクリューレス端子 ・A 接点・B 接点 設定可能	無電圧ループ接点出力 ・スクリューレス端子
通信条件	接続ポートより、ストレスなくインターネットが閲覧出来ること		

※1 固定 IP を希望される場合には、DHCP サーバーに、MAC アドレスによる IP アドレス予約設定を行うか、ルーター配下に接続する必要があります。

総発売元



株式会社 J コーポレーション

総合窓口 TEL 0742-53-7833

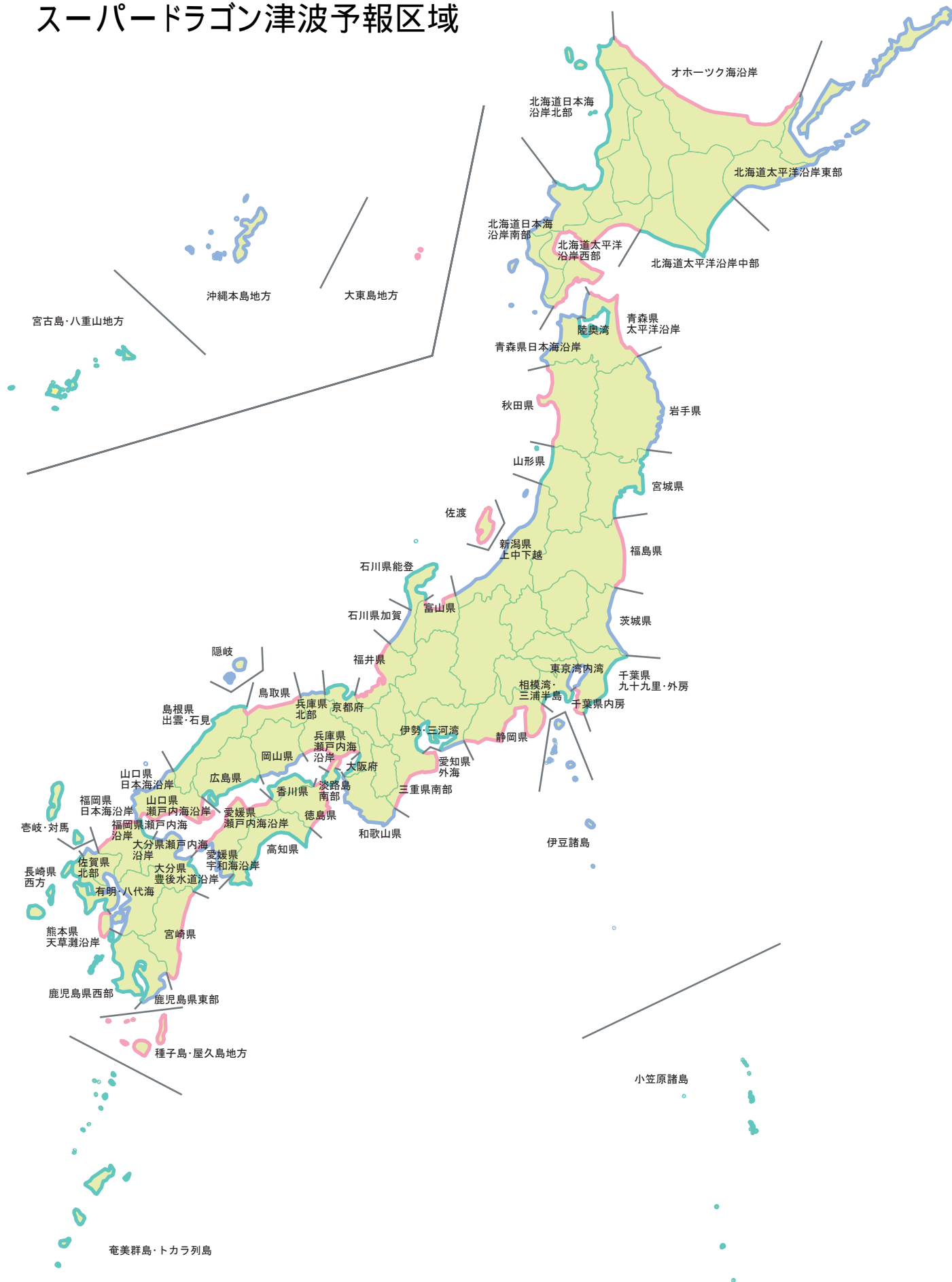
〒631-0011 奈良県奈良市押熊町 557-7-4F

1 版 210726



# その他資料(別紙No.8-1)

## スーパードラゴン津波予報区域



## その他資料(別紙No.8-2)

## 予報区コード表

コード	名称	コード	名称
100	北海道太平洋沿岸東部	520	兵庫県北部
101	北海道太平洋沿岸中部	521	兵庫県瀬戸内海沿岸
102	北海道太平洋沿岸西部	522	淡路島南部
110	北海道日本海沿岸北部	530	和歌山県
111	北海道日本海沿岸南部	540	鳥取県
120	オホーツク海沿岸	550	島根県出雲・石見
200	青森県日本海沿岸	551	隠岐
201	青森県太平洋沿岸	560	岡山県
202	陸奥湾	570	広島県
210	岩手県	580	徳島県
220	宮城県	590	香川県
230	秋田県	600	愛媛県宇和海沿岸
240	山形県	601	愛媛県瀬戸内海沿岸
250	福島県	610	高知県
300	茨城県	700	山口県日本海沿岸
310	千葉県九十九里・外房	701	山口県瀬戸内海沿岸
311	千葉県内房	710	福岡県瀬戸内海沿岸
312	東京湾内湾	711	福岡県日本海沿岸
320	伊豆諸島	712	有明・八代海
321	小笠原諸島	720	佐賀県北部
330	相模湾・三浦半島	730	長崎県西方
340	新潟県上中下越	731	壱岐・対馬
341	佐渡	740	熊本県天草灘沿岸
350	富山県	750	大分県瀬戸内海沿岸
360	石川県能登	751	大分県豊後水道沿岸
361	石川県加賀	760	宮崎県
370	福井県	770	鹿児島県東部
380	静岡県	773	鹿児島県西部
390	愛知県外海	771	種子島・屋久島地方
391	伊勢・三河湾	772	奄美群島・トカラ列島
400	三重県南部	800	沖縄本島地方
500	京都府	801	大東島地方
510	大阪府	802	宮古島・八重山地方

# 設定確認シート別紙 No. 3 の説明書



型番 : SD-EX2000J

緊急地震速報のリーディングカンパニー



株式会社 **J** コーポレーション

総合窓口 TEL 0742-53-7833

〒631-0011 奈良県奈良市押熊町 557-7-4F

<https://www.jcorp.co.jp> fax 0742-53-7795



# A

## (2) [基本項目設定] 画面

この画面では通報閾値として設定されている震度階級（震度）と付随する項目の設定確認または変更を行います。また、津波情報配信サービスをお申し込みいただいた場合は、津波に関する設定を確認または変更することができます。

No.	名称	説明																	
①	通報閾値 (地震通報設定)	<p>本装置が緊急地震速報を受信し、この項目で設定した震度以上の揺れが到達すると予測された場合に、本装置から音声通知されます。以下の震度階級表を参考にして、本装置をお使いになる場所に適する通報震度を設定してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">[通報震度階級]</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>震度</th> <th>想定される被害状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">予報</td> <td>0</td> <td>揺れを感じない。</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>屋内で静かにしているときに、揺れをわずかに感じる場合がある。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>屋内で静かにしているときに、多くの人が揺れを感じる。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>屋内にいる場合、ほとんどの人が揺れを感じる。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>電灯など、つり下げられている物は大きく揺れ、揺れに驚く人が多い。また、きちんと固定されていない不安定な状態の置物などは、転倒することがある。</td> </tr> </tbody> </table>	[通報震度階級]			種別	震度	想定される被害状況	予報	0	揺れを感じない。	1	屋内で静かにしているときに、揺れをわずかに感じる場合がある。	2	屋内で静かにしているときに、多くの人が揺れを感じる。	3	屋内にいる場合、ほとんどの人が揺れを感じる。	4	電灯など、つり下げられている物は大きく揺れ、揺れに驚く人が多い。また、きちんと固定されていない不安定な状態の置物などは、転倒することがある。
[通報震度階級]																			
種別	震度	想定される被害状況																	
予報	0	揺れを感じない。																	
	1	屋内で静かにしているときに、揺れをわずかに感じる場合がある。																	
	2	屋内で静かにしているときに、多くの人が揺れを感じる。																	
	3	屋内にいる場合、ほとんどの人が揺れを感じる。																	
	4	電灯など、つり下げられている物は大きく揺れ、揺れに驚く人が多い。また、きちんと固定されていない不安定な状態の置物などは、転倒することがある。																	

		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #f080f0; text-align: center; vertical-align: middle;">警報</td> <td style="width: 50px; text-align: center;">5 弱</td> <td>多くの人が恐怖を感じ、何かに捕まりたいと感じる揺れ。棚に保管されている本や食器などが落下する場合があります。固定されていない家具などは移動することがある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">5 強</td> <td>何かに固定されている物に捕まらないと歩行が困難な揺れ。棚に保管されている本や食器などの落下物が増える。固定されていない家具などは転倒することがある。さらに、補強されていないブロック塀などは倒壊のおそれがある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">6 弱</td> <td>立っていることが困難な揺れ。固定されていない家具の大半が移動や転倒し、危険な状態。窓ガラスが破損したり、ドアの開閉ができなくなる。さらに、耐震性の低い木造建築物は、傾いたり倒壊するおそれがある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">6 強</td> <td>立ったまま移動することができない揺れ。固定されていない家具などの大半が転倒し、耐震性の低い木造建築物は、傾いたり倒壊することが多くなる。大きな地割れが発生したり、大規模な地滑りなどが発生することがある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">7</td> <td>耐震性の低い木造建築物の大半が倒壊し、耐震性の高い建物であっても、まれに傾くことがある。耐震性の低い鉄筋コンクリート構造の建物は、倒壊することが多い。</td> </tr> </table>	警報	5 弱	多くの人が恐怖を感じ、何かに捕まりたいと感じる揺れ。棚に保管されている本や食器などが落下する場合があります。固定されていない家具などは移動することがある。		5 強	何かに固定されている物に捕まらないと歩行が困難な揺れ。棚に保管されている本や食器などの落下物が増える。固定されていない家具などは転倒することがある。さらに、補強されていないブロック塀などは倒壊のおそれがある。		6 弱	立っていることが困難な揺れ。固定されていない家具の大半が移動や転倒し、危険な状態。窓ガラスが破損したり、ドアの開閉ができなくなる。さらに、耐震性の低い木造建築物は、傾いたり倒壊するおそれがある。		6 強	立ったまま移動することができない揺れ。固定されていない家具などの大半が転倒し、耐震性の低い木造建築物は、傾いたり倒壊することが多くなる。大きな地割れが発生したり、大規模な地滑りなどが発生することがある。		7	耐震性の低い木造建築物の大半が倒壊し、耐震性の高い建物であっても、まれに傾くことがある。耐震性の低い鉄筋コンクリート構造の建物は、倒壊することが多い。
警報	5 弱	多くの人が恐怖を感じ、何かに捕まりたいと感じる揺れ。棚に保管されている本や食器などが落下する場合があります。固定されていない家具などは移動することがある。															
	5 強	何かに固定されている物に捕まらないと歩行が困難な揺れ。棚に保管されている本や食器などの落下物が増える。固定されていない家具などは転倒することがある。さらに、補強されていないブロック塀などは倒壊のおそれがある。															
	6 弱	立っていることが困難な揺れ。固定されていない家具の大半が移動や転倒し、危険な状態。窓ガラスが破損したり、ドアの開閉ができなくなる。さらに、耐震性の低い木造建築物は、傾いたり倒壊するおそれがある。															
	6 強	立ったまま移動することができない揺れ。固定されていない家具などの大半が転倒し、耐震性の低い木造建築物は、傾いたり倒壊することが多くなる。大きな地割れが発生したり、大規模な地滑りなどが発生することがある。															
	7	耐震性の低い木造建築物の大半が倒壊し、耐震性の高い建物であっても、まれに傾くことがある。耐震性の低い鉄筋コンクリート構造の建物は、倒壊することが多い。															
②	<p>通報閾値 (津波通報設定)</p>	<p>本装置に設定されている津波予報区に対して通知する津波情報の種別を次の2つの選択肢から設定します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #add8e6;">選択肢</th> <th style="background-color: #add8e6;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>すべて</td> <td>津波による被害が予想されない「津波予報」も含めて通知処理を行います。</td> </tr> <tr> <td>津波注意報</td> <td>津波による被害が予想される「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」を受信した場合に通知処理を行います。</td> </tr> <tr> <td>津波警報</td> <td>津波による被害が予想される「大津波警報」「津波警報」を受信した場合に通知処理を行います。高台への避難が必要です。</td> </tr> <tr> <td>大津波警報</td> <td>津波による被害が予想される「大津波警報」を受信した場合に通知処理を行います。高台への避難が必要です。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「注意報」を選択しており津波予報を受信した場合であっても、途中で津波予報から津波注意報以上の津波情報を受信すれば、本装置は通知処理を行います。 ※津波情報配信サービスを利用する場合有効となる設定項目です。</p>	選択肢	内容	すべて	津波による被害が予想されない「津波予報」も含めて通知処理を行います。	津波注意報	津波による被害が予想される「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」を受信した場合に通知処理を行います。	津波警報	津波による被害が予想される「大津波警報」「津波警報」を受信した場合に通知処理を行います。高台への避難が必要です。	大津波警報	津波による被害が予想される「大津波警報」を受信した場合に通知処理を行います。高台への避難が必要です。					
選択肢	内容																
すべて	津波による被害が予想されない「津波予報」も含めて通知処理を行います。																
津波注意報	津波による被害が予想される「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」を受信した場合に通知処理を行います。																
津波警報	津波による被害が予想される「大津波警報」「津波警報」を受信した場合に通知処理を行います。高台への避難が必要です。																
大津波警報	津波による被害が予想される「大津波警報」を受信した場合に通知処理を行います。高台への避難が必要です。																
③	<p>間欠通報間隔</p>	<p>間欠通報時間帯に再生する音声の間隔を秒数で指定します。0 秒を指定した場合、発表音声の通知のみ行い、繰り返し再生はしません。 ※詳細は「5-4-3-4 津波警報・注意報および津波予報の音声アナウンスの流れ」を参照して下さい。 ※津波情報配信サービスを利用する場合有効となる設定項目です。</p>															
④	<p>連続通報時間</p>	<p>間欠通報時間帯から連続通報時間帯に切り替える時間を指定します。起点となる津波到達予測日時から遡る時間を秒数で指定します。0 秒を指定した場合、音声による連続通報は行わず解除報音声のみ通知し</p>															

# A

## 1-3-2 津波警報・注意報と津波予報とは

津波警報・注意報と津波予報とは、気象庁が発表する"地震の発生により引き起こされた"津波に関する防災情報です。

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の後、従来の発表内容が見直され2013年3月7日の正午から、改正された内容で津波に関する情報が、日本の沿岸を約70ヶ所弱に区切った予報区毎に発表されます。

津波警報・注意報は、改正により従来は8段階に区別されていたものを5段階に減らし、下表のように改め定められました。マグニチュード8を超える巨大地震が発生した場合は、正確な地震の規模をすぐに求めることができないため、数値表現による津波の高さをお知らせすることができません。このため、最初に発表する大津波警報、津波警報では緊急事態の発生を理解しやすい「巨大」「高い」という言葉を使い、迅速に避難行動をとれるように促します。

[津波警報・津波注意報の区分け表]

	区分	発表内容(数値表現)	巨大地震時の発表内容	発表基準
1	大津波警報	10m 超 (10m < 予想高さ)	巨大	予想される津波の高さが 3m を超えるとき。
2		10m (5m < 予想高さ ≤ 10m)		
3		5m (3m < 予想高さ ≤ 5m)		
4	津波警報	3m (1m < 予想高さ ≤ 3m)	高い	予想される津波の高さが 1m を超え 3m 以下のとき。
5	津波注意報	1m (0.2m ≤ 予想高さ ≤ 1m)	—	予想される津波の高さが 0.2m 以上から 1m 以下の範囲内であり、津波による災害の恐れがあるとき。

※大津波警報は、2013年8月30日から「特別警報」に位置づけられて運用されています。

津波予報は、気象庁が地震発生後に津波による災害発生の恐れがない・なくなった場合など特段の防災対応を必要としないと判断したときに発表されます。ただし、海面変動が継続する場合もあるため海辺での行動には十分な留意が必要なこともあります。

その他の津波警報・注意報、津波予報に関する詳細な情報は気象庁のホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/tsunamiinfo.html>)も参照してください。

## 1-3-3 緊急地震速報の限界

緊急地震速報は、P波とS波が到達するまでの時間差を利用し、観測したP波の情報を、インターネット回線を通じて迅速に発信することで成り立っています。

震源地が本装置の設置場所に近い場合などには、技術的な限界により、本装置からの警報(予報)通知が間に合わない場合があります(警報と予報については「4-4 通報震度の確認と変更」を参照)。

## 5-4-3 音声通報のタイプとアナウンスの流れ

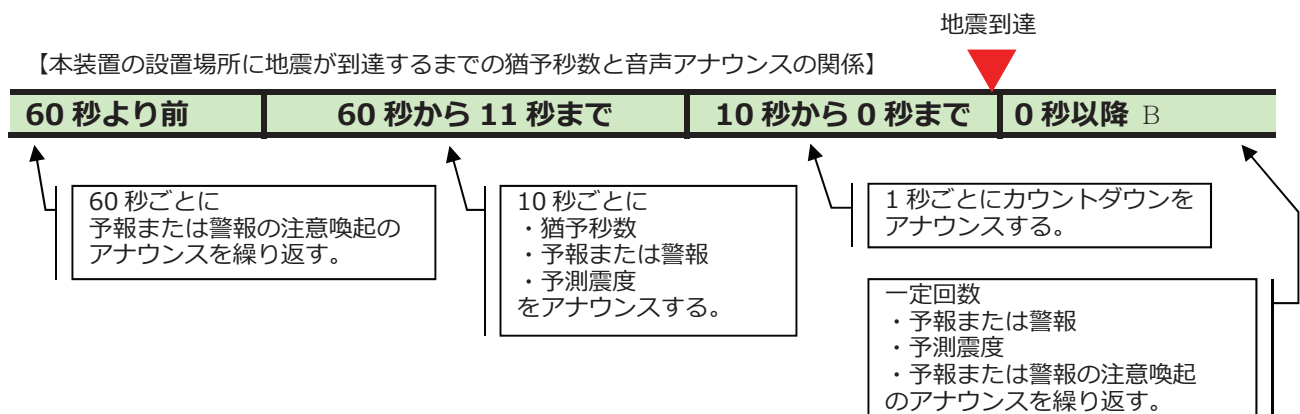
本装置は、本装置に設定された通報閾値を超える緊急地震速報または津波警報・注意報等を受信すると、音声通報を行います。この音声通報は、内蔵スピーカーから出力されるか、または本装置背面の LINE OUT コネクターを通して外部のスピーカーから出力されます。

### 5-4-3-1 地震に対する音声通報のタイプ (TYPE)

音声通報のタイプには、以下のように TYPE1 から TYPE4 まであります。予報と警報には同じタイプが設定されます。(予報と警報で異なるタイプを選択することはできません。)

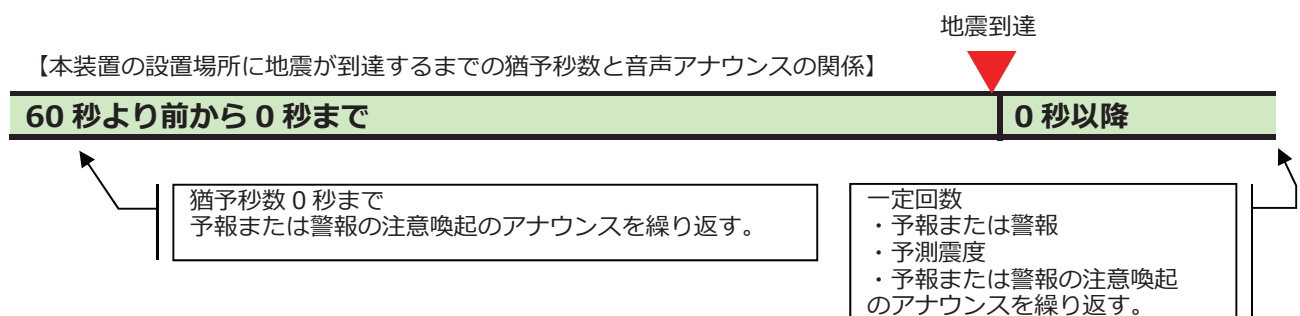
#### □ TYPE1

予報 (警報) の注意喚起、予報 (警報)、予測震度、地震が到達するまでの猶予秒数、およびカウントダウンをアナウンスする通報タイプです。工場や自社ビルなど、統一的な行動をとしやすい施設に適しています。



#### □ TYPE2

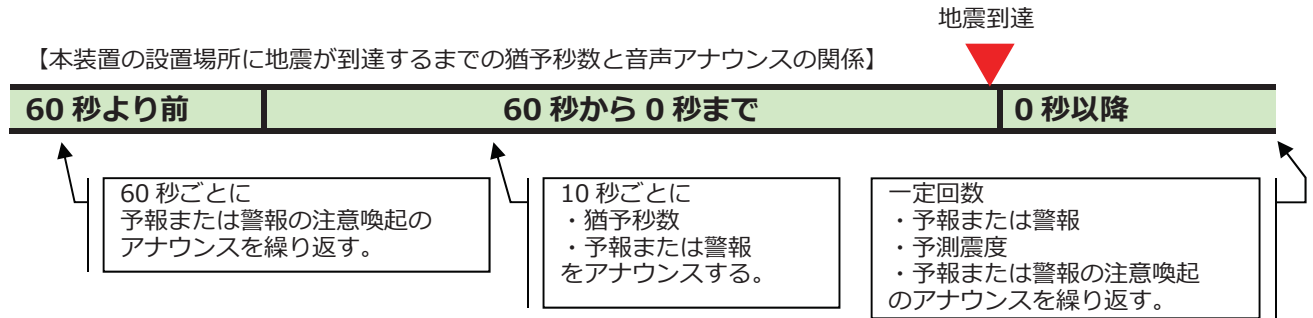
カウントダウンや猶予秒数の通知など、時間に関するアナウンスを省略した通報タイプです。一般の方が多い集客施設など、カウントダウンや猶予時間のアナウンスが好ましくない施設に適しています。



# B

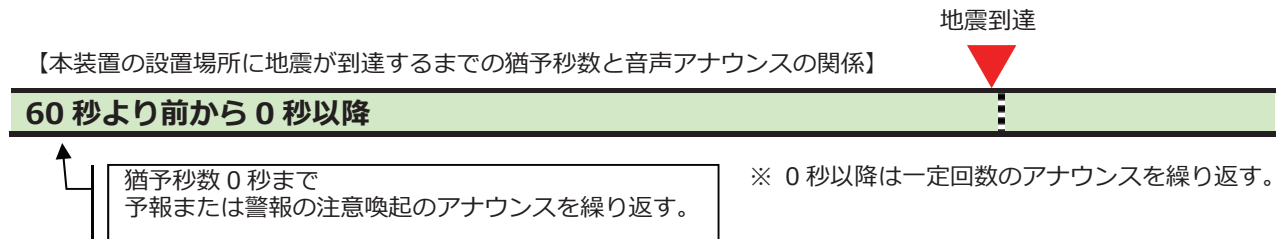
## □ TYPE3

TYPE1 からカウントダウンを省略した通報タイプです。一般的なオフィスや中学校以上の学校等に適しています。



## □ TYPE4

予報（警報）の注意喚起だけをアナウンスする通報タイプです。幼稚園や小学校など、簡単なアナウンスだけを必要とする施設に適しています。



[音声通報タイプ比較表]

	地震到達まで					地震到達後	
	60 秒より前 (60 秒毎)	60~11 秒前まで(TYPE1) 60~10 秒前まで(TYPE2,3,4 のみ) (10 秒毎)			10~0 秒まで (1 秒毎)	0 秒より後 指定回数繰り返し (出荷時=3)	
	注意喚起	注意喚起	猶予時間	予測震度	カウントダウン	予測震度	注意喚起
TYPE1 (出荷時)	○	○	○	○	○	○	○
TYPE2	○	○				○	○
TYPE3	○	○	○			○	○
TYPE4	○	○					○



□ 通報時刻

本装置が気象庁からの緊急地震速報を受信し、警報/予報の「通知を行った日時 (月日時分秒)」です。

□ P波到達時間

本装置が設置された地点への「P波が到達するまでの秒数 (小数点2位まで)」です。

□ S波到達時間

本装置が設置された地点への「S波が到達するまでの秒数 (小数点2位まで)」です。

□ 予想震度

本装置が設置された地点に到達するS波の「予測される震度階級 (揺れの大きさ)」です。震度階級には0、1、2、3、4、5弱、5強、6弱、6強、7の10段階があります。

□ 予想猶予時間

本装置が気象庁からの緊急地震速報を最初に受信してから、演算処理の結果、本装置が設置された地点へ、S波が到達するまでの予測秒数です。

□ 特記

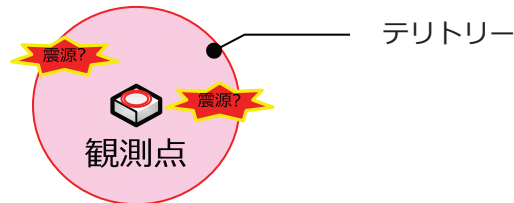
本装置の動作結果が表記されます。表記とその意味を以下に示します。

表記	意味																				
予報通報	本装置が予報を受信し、予報通知を行ったことを表します。																				
警報通報	本装置が警報を受信し、警報通知を行ったことを表します。																				
通報禁止時間帯	通報 (通知) 禁止時間帯に緊急地震速報を受信したことを表します。																				
キャンセル通報	本装置がキャンセル通報を行ったことを表します。																				
CH2 制御	本装置がCH2 (リレー出力端子 R1、R2) の制御を行ったことを表します。																				
CH3 制御	本装置がCH3 (リレー出力端子 R1、R2) の制御を行ったことを表します。																				
設定精度未滿	<p>気象庁から受信した緊急地震速報の精度が、本装置に設定されている精度より低かったことを表します。</p> <p>本装置では、使用する緊急地震速報の精度を以下の4種類の算出方法から選択することができます。この算出方法は震源地を特定するための方式であり、観測点の数が多くなるほど緊急地震速報の精度が高くなります。</p> <table border="1" data-bbox="466 1599 1461 1800"> <thead> <tr> <th>算出方法</th> <th>観測点の数</th> <th>精度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. テリトリー法 (1点)</td> <td>1</td> <td>低い</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. テリトリー法 (2点)</td> <td>2</td> <td>↑</td> <td>工場出荷時設定</td> </tr> <tr> <td>3. グリッドサーチ法 (3/4点)</td> <td>3~4</td> <td>↓</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>4. グリッドサーチ法 (5点)</td> <td>5</td> <td>高い</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;算出方法について&gt;            ○<b>テリトリー法とは</b>            到達する震度を予測するには地震が発生した箇所 (震源) を特定する必要があります。テリトリー法はこの震源を特定するための方法の1つです。各観測点には領域 (テリトリー) が割り当てられている事からテリトリー法と名付けられています。</p>	算出方法	観測点の数	精度	備考	1. テリトリー法 (1点)	1	低い		2. テリトリー法 (2点)	2	↑	工場出荷時設定	3. グリッドサーチ法 (3/4点)	3~4	↓	A	4. グリッドサーチ法 (5点)	5	高い	
算出方法	観測点の数	精度	備考																		
1. テリトリー法 (1点)	1	低い																			
2. テリトリー法 (2点)	2	↑	工場出荷時設定																		
3. グリッドサーチ法 (3/4点)	3~4	↓	A																		
4. グリッドサーチ法 (5点)	5	高い																			

### ・テリトリー法（1点）

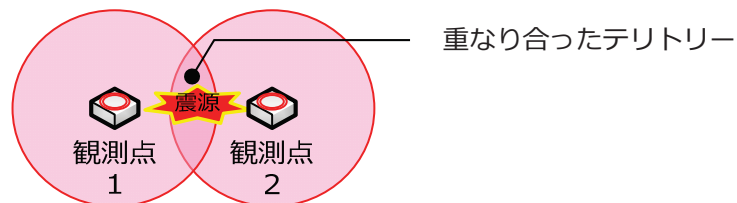
地震を観測した観測点に割り当てられた領域（テリトリー）内に、地震が発生した震源があると判断する方式です。

地震計を中心とした領域内の全方位に震源があると判断するため、正確な震源の特定が難しくなります。



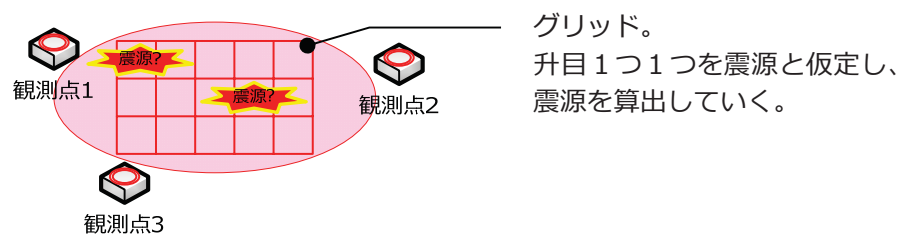
### ・テリトリー法（2点）

観測点に割り当てられた領域（テリトリー）内に震源があるという考え方はわかりませんが、2つの観測点に割り当てられた領域を使用するため、震源はこの2つの領域が重なり合った領域内にあると判断する方式です。領域が限定されるため、実用上問題のない範囲で震源が特定されます。



### ○グリッドサーチ法（3／4点、5点）とは

3箇所以上の観測点から地震の情報が取得できる場合、それぞれの観測点で観測した情報を元に震源が存在すると考えられる範囲を限定します。さらにその範囲内を格子状（グリッド）に区切り、震源を特定することからグリッドサーチ法と名付けられています。



格子状の柵目1つ1つを震源と仮定し、計算により求められた結果（到達時間や震度階級等）と、実際に観測点で観測した結果を比較し、最も差が小さい柵目を震源と判断する方式です。

震源計算に使用できる観測点の数がテリトリー法に比べ多いため、正確な震源の特定をすることができます。

しかし、多くの観測点で地震を観測するには時間が掛かるため、この方法を使用した場合、緊急地震速報の通知が間に合わない可能性が、非常に高くなります。

## 5-5 リレー通報

### 5-5-1 緊急地震速報によるリレー通報

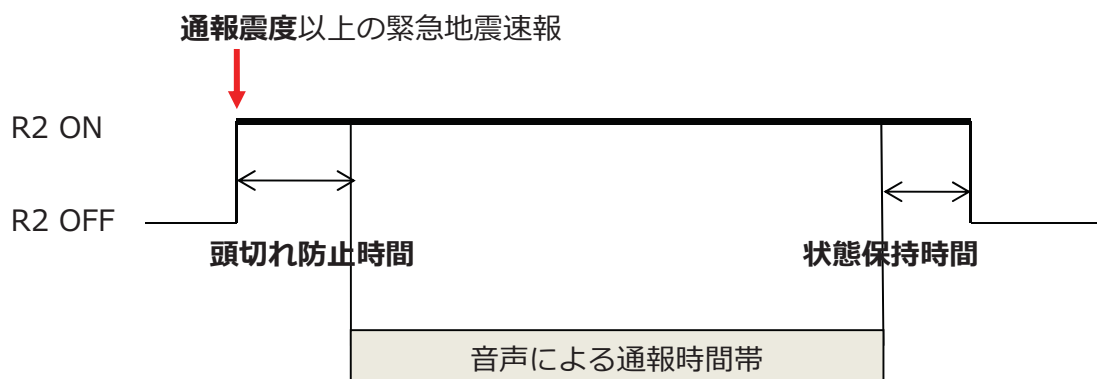
本装置は、緊急地震速報を受信し、予測演算した結果が通報震度以上の値になる場合は、すぐにリレーを制御します。リレーは3系統 (CH1、CH2、CH3) あり、それぞれ個別に制御します。このとき、警報と予報を区別せずに制御します。

地震 ID が同一の緊急地震速報を受信した場合、本装置は1回のリレー通報のみを行います。本装置は、緊急地震速報が同一であるかどうかを地震 ID によって判断しています。

また、リレー通報中に、地震 ID が異なる緊急地震速報を受信した場合は、その緊急地震速報に対するリレー通報は行いません。

#### (1) CH1 のリレー制御タイムチャート例

本装置は、通報震度以上の緊急地震速報を受信すると、最初に R2 を ON (接続) 状態に制御します。事前に R2 を放送設備のアンプと接続しておいてください。R2 が ON 状態になり1秒程度の時間 (頭切れ防止時間) が経過した後に、アンプ側はオーディオ入力可能な状態になります。この状態で、本装置は音声通報を LINE OUT から出力します。通報が終了すると、本装置は、ON 状態を一定時間保持 (状態保持時間) した後に R2 を OFF (切断) 状態にします。これにより、通報が終わったことをアンプ側に知らせます。



通報震度、頭切れ防止時間、および状態保持時間を設定することで、リレーの動きを制御することができます。

## (18) [通報震度&amp;放送設備 I/F 設定] 画面

この画面では、本装置に接続する 3 系統(CH1、CH2、CH3)のリレーの動作をそれぞれ設定します。

**通報閾値&放送設備I/F設定**

リレー-回線設定

リレー-回線設定状況  回路あり  回路なし

---

リレー-CH1

**CH1** R2 放送アンプリモット制御  
AUDIO OUT

T11 予滞時間      不定      T12

音声の長さで繰り返し回数 (N) による。

地震通報: 震度3      T10 5 × 100ms      T11 10 × 100ms      T12 4 × 100ms      N 3回     

津波通報: すべて

● T10は予備です。  
● 津波通報時の「N」は無視されます。  
● 津波通報時の閾値時間案において、基本項目設定の津波通報設定の閾値通報閾値で上記を繰り上げます。  
● 津波通報時の連続通報時間案において、解除または失効日時まで上記を繰り上げます。

---

リレー-CH2

**CH2** R1  
R2

T20: バルス幅      T21: 状態保持時間

予滞時間

地震通報: 震度3      T20 3 × 100ms      T21 10 × 100ms     

津波通報: すべて

● 津波通報時の「T21」は無視され、解除または失効日時まではHIGH出力を維持します。

---

リレー-CH3

**CH3** R1  
R2

T30: バルス幅      T31: 状態保持時間

予滞時間

地震通報: 震度3      T30 3 × 100ms      T31 10 × 100ms     

津波通報: すべて

● 津波通報時の「T31」は無視され、解除または失効日時まではHIGH出力を維持します。

次ページ以降から上記画面を分割して、設定方法を説明します。「3-4 リレー出力端子に接続」や「5-5 リレー通報」の内容を理解してから設定してください。

## [ブロック図]

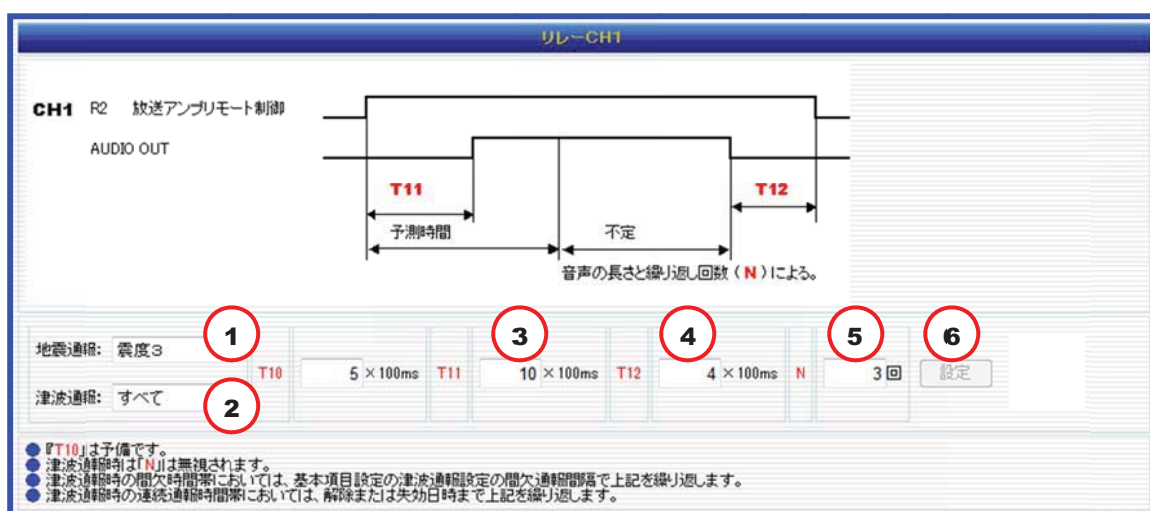
本装置にリレー回路が取り付けられているかどうかを選択します。



No.	名称	説明
①	リレー回路設置状況	現行の専用通報装置では、[回路なし] は選択できません。

## [CH1 タイムチャート図]

放送設備に利用する CH1 の動作を設定します。



No.	名称	説明
①	地震通報	CH1 を制御し音声アナウンスを流す震度を選択します。 [基本項目設定]画面にて指定した地震の[通報閾値]項目と関連づけられています。
②	津波通報	CH1 を制御し音声アナウンスを流す津波の種別を選択します。 [基本項目設定]画面にて指定した津波の[通報閾値]項目と関連づけられています。
③	T11	音声の頭切れ防止時間を指定します (入力範囲: 1~9999999)。
④	T12	状態保持時間を指定します (入力範囲: 1~9999999)。
⑤	N	地震が到達してからアナウンスする音声の繰り返し回数を指定します (入力範囲: 1~9999999)。 たとえば、「強い揺れに警戒してください」の音声を繰り返す回数になります。
⑥	設定	①~⑤で指定した内容を設定します。

# E

[CH2 タイムチャート図]

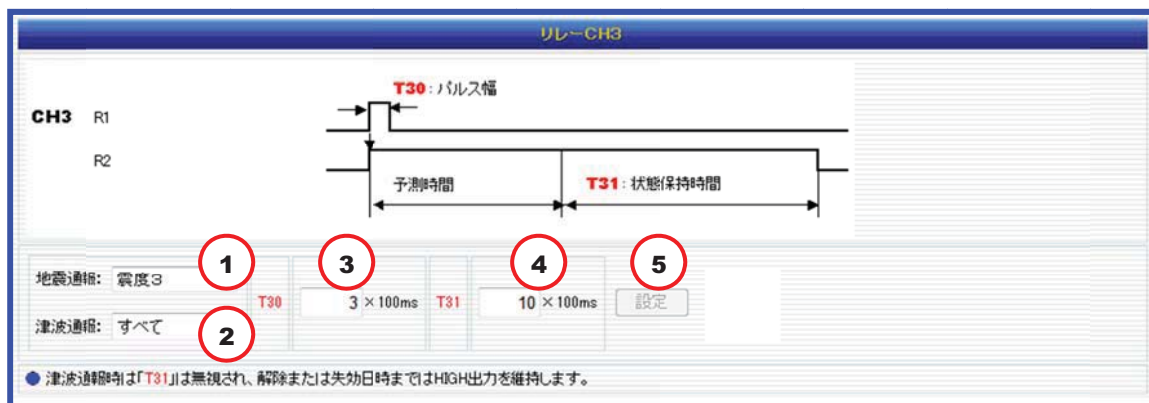
CH2 の動作を設定します。



No.	名称	説明
①	地震通報	CH2 を制御する地震の震度を指定します。「制御しない」を指定すると動作しません。
②	津波通報	CH2 を制御する津波の種別を指定します。「制御しない」を指定すると動作しません。
③	T20	パルス幅を指定します (入力範囲: 1~9999999)。
④	T21	状態保持時間を指定します (入力範囲: 1~9999999)。
⑤	設定	①~④で指定した内容を設定します。

[CH3 タイムチャート図]

CH3 の動作を設定します。



No.	名称	説明
①	地震通報	CH3 を制御する震度を指定します。「制御しない」を指定すると動作しません。
②	津波通報	CH3 を制御する津波の種別を指定します。「制御しない」を指定すると動作しません。
③	T30	パルス幅を指定します (入力範囲: 1~9999999)。
④	T31	状態保持時間を指定します (入力範囲: 1~9999999)。
⑤	設定	①~④で指定した内容を設定します。

### 【接続参考例：小型LED表示灯をリレー出力端子に接続する場合】

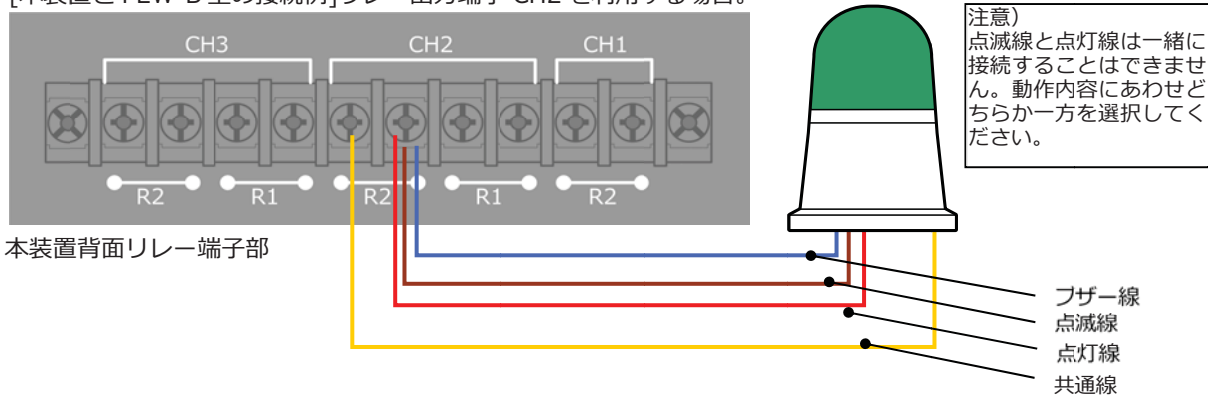
本装置のリレー出力端子にパトライト社製小型LED表示灯(PEW型、PEW-B型、PES型および互換性のある製品)を接続することができます。

本装置との接続例を以下に示します。小型LED表示灯を点灯(または点滅)させる時間については接続に使用するリレー端子(CH)の設定から指定します。

動作確認は、本機の「試験通報(警報、予報)」機能(「6-2 防災情報設定(2)[基本項目設定]画面」参照)を使用して行います。あらかじめ、試験通報時にも本機がリレー端子を制御するように[訓練・テスト・気象庁訓練報]画面より、該当するリレーCHの選択項目[リレーCH制御]に「する」が選択されていることを確認しておきます(「6-2 防災情報設定(20)[訓練・テスト(試験)通報、気象庁訓練報の設定]画面」参照)。

#### (1)配線方法

[本装置とPEW-B型の接続例]リレー出力端子CH2を利用する場合。



リード線の色	リレー出力端子	表示灯の動作	備考
黄色(共通線)	CH2/CH3のR2端子(COM)	---	
赤色(点灯線)	CH2/CH3のR2端子(NO)	点灯	黄色のリード線と同じCHに接続。
茶色(点滅)	CH2/CH3のR2端子(NO)	点滅	黄色のリード線と同じCHに接続。
空色(ブザー線)	CH2/CH3のR2端子(NO)	ブザー音の再生	黄色のリード線と同じCHに接続。

※PEW型、PES型はブザーが無いため、空色のリード線がありません。

#### (2)機能設定

小型LED表示灯は点灯の他、点滅数を高速(約180回/分)、中速(約120回/分)、低速(約60回/分)の3段階に内部スイッチを切り替えることで調節できます。調節方法は小型LED表示灯の説明書をご参照下さい。

PEW-B型は大音量ブザーが内蔵されており、小型LED表示灯の正面下部にあるつまみをスライドすることで最大85dB(at 1m)まで調節できます。

# E

## (3)小型 LED 表示灯の仕様

型名	カラー	音量	定格電圧
PEW-24 PEW-100 PEW-200	赤、黄、緑、青	-	AC/DC24V,AC100V,AC120V,AC200V,AC230V
PEW-24B PEW-100B PEW-200B	赤、黄、緑、青	最大 85dB (at 1m)	AC/DC24V,AC100V,AC120V,AC200V,AC230V
PES-24 PES-100 PES-120 PES-200 PES-230	赤、黄、緑、青	-	AC/DC24V,AC100V,AC120V,AC200V,AC230V

※その他製品仕様の詳細についてはパトライト社のホームページ(<http://www.patlite.co.jp/>)をご参照ください。



## (16) [定時チャイム] 画面

この画面では、定時チャイムを鳴らす時刻（時分）を曜日ごとに設定します。また、チャイム用の音声ファイルを登録することで、チャイム音を変更できます。

## [鳴動時間指定]

No.	名称	説明
①	分	チャイムを鳴らす時分の分を指定します。
②	設定	①で指定した時刻を設定します。

## [チャイム音アップロード指定]

No.	名称	説明
③	登録	<p>本装置にチャイム音の音声ファイルを登録するときに選択するラジオボタンです。登録する場合、以下の手順を実行してください。</p> <p>[登録] (③) をクリックする。</p> <p>[参照] (⑤) をクリックする。</p> <p>表示される画面で、登録する音声ファイルを選択し、[開く]をクリックする。</p> <p>[送信] (⑥) をクリックする。</p>



### 5-3 本装置の通報方法

本装置が、緊急地震速報を予測演算し、実際に通報するまでの処理手順を以下に示します。

- (1) 緊急地震速報の電文が正しいか確認する。
- (2) 緊急地震速報の精度を満たしているか確認する。
- (3) 通報禁止時間帯でないことを確認する。
- (4) 本装置の設置場所に地震が到達するまでの猶予時間を計算する。
- (5) 予測震度が通報震度以上か確認する。

この処理手順を基本にして、本装置は音声による通報およびリレー制御による通報を行います。この処理手順の各ステップに関連する以下の設定を、本装置の Web 画面から実行できます。

- 緊急地震速報精度の設定
- 通報禁止時間帯の設定
- 通報震度の設定
- リレー制御方法の設定

#### 5-3-1 緊急地震速報精度の設定

多少の誤通報があっても早く通報を受けたい場合や、逆に、確実に地震が発生したことを検知してから通報を受けたい場合に、緊急地震速報精度の設定値を工場出荷時の値から変更します（「7-2 工場出荷時の設定値」参照）。

本装置の工場出荷時の設定値は、2 点観測以上の緊急地震速報のデータを予測演算に利用するようになっています。

#### 5-3-2 通報禁止時間帯の設定

本装置に通報禁止時間帯を設定します。通報禁止時間帯は、1 週間分の設定が記憶されるため、毎週、特定の曜日や時間帯で通知を禁止することができます。たとえば、学校など、夜間には無人になるため通知の必要がない場所や、住宅地など、時間帯によっては通知が近隣の迷惑となる場所に本装置が設置されている場合に、通報禁止時間帯の設定が役立ちます。通報禁止時間帯の設定画面については、「6-2 防災情報設定(17)[通報禁止時間帯設定]画面」を参照してください。

但し、通報時間帯に到達する前に津波の開始電文を受信し、津波に対する通知処理を継続している場合は通報禁止時間帯の設定に拘わらず通知処理を行います。

### (19) [警報設備設定 I/F] 画面

この画面では、パトライト社製のネットワーク監視表示灯を警報設備として利用するための情報を設定します。設定するには、SNMP (Simple Network Management Protocol) の知識が必要です。

基本的には、ネットワーク監視表示灯に規定されている情報を設定しますが、SNMP を用いてネットワーク監視している会社では、コミュニティ名や OID (TRAP 番号) は管理されています。指定の名称や番号がある場合は、それらを入力してください。また、ネットワーク監視表示灯を利用するには、この画面での設定だけでなく、ネットワーク監視表示灯側での設定も必要です。

本装置に接続できるネットワーク監視表示灯は、NHC-3FB、NHE-3FB、NHM-3FB の 3 製品(および互換性のある製品)です。本機では、最大 10 個のネットワーク監視表示灯を設定できます。

なお、本機がパトライトに対して OID を送信するタイミングは音声の出力に同期し、パトライトに対して実際に送信する OID (TRAP 番号) には、設定画面より入力した OID の末尾に番号が付与されます。詳細については【接続参考例：ネットワーク監視表示灯を SNMP 接続を利用して制御する場合】を参照して下さい。

<ネットワーク監視表示灯以外を制御したい場合は... >

本取扱説明書記載以外の機器を SNMP により制御したい場合は、販売店経由でお問い合わせ下さい。

		<p>ます。</p> <p>※詳細は「5-4-3-4 津波警報・注意報および津波予報の音声アナウンスの流れ」を参照して下さい。</p> <p>※津波情報配信サービスを利用する場合有効となる設定項目です。</p>												
⑤	本体音量	<p>本装置に内蔵されているスピーカーより出力する音量を設定します。スライダーのつまみをマウスで左右にドラッグすることで、出力する音量を 0 から 100% の範囲で指定することができます。</p>												
⑥	放送機器出力音量	<p>本装置背面にある LINE OUT コネクタより出力する音量を設定します。</p> <p>スライダーのつまみをマウスで左右にドラッグすることで、出力する音量を 0 から 100% の範囲で指定することができます。</p>												
⑦	設定	①、②、③で指定した内容を設定します。												
⑧	試験通報種別 (地震試験通報)	<p>本装置が緊急地震速報を受信し通知する際、実際に流れる音声の内容を確認することができます。避難訓練時などにこの機能を役立てることができます。</p> <p>通知する音声の内容として「警報」と「予報」のどちらかを選択します。</p> <p>※津波情報配信サービスを利用する場合有効となる設定項目です。</p>												
⑨	通報開始 (地震試験通報)	<p>⑧で指定された内容と本機に設定されている音声アナウンスのタイプを使用して、即時に通知を開始します。なお、通知される音声には冒頭と最後に次の音声追加されます。</p> <p>冒頭: 只今から、緊急地震速報の訓練報を通報します。          ※「テスト通報時の冒頭アナウンス」に「する」を指定した場合のみ。「(20) [訓練・テスト (試験) 通報、気象庁訓練報の設定]」画面を参照。</p> <p>最後: 只今のは訓練通報でした。</p> <p>本装置内蔵スピーカーと LINE OUT より音声出力されます。          本装置を放送機器などに接続している場合は、事前の周知など行い、混乱が生じないようにご注意ください。</p> <p>[警報の試験通報内容(TYPE1 の場合)]          震度 5 強の地震の揺れが 30 秒後に到達する場合の音声出力されません。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #ADD8E6;"> <th style="text-align: center;">時間</th> <th style="text-align: center;">音声内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">30 秒前</td> <td>警報アラーム音♪、地震警報、30 秒前、震度 5 強</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">20 秒前</td> <td>警報アラーム音♪、地震警報、20 秒前、震度 5 強</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10 秒前</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9 秒前～0 秒</td> <td>9、8、7、6、5、4、3、2、1、0 (カウントダウン)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0 秒以降</td> <td>地震警報、震度 5 強、警報アラーム音♪、強い揺れに警戒してください。※指定回数繰り返します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※警報アラーム音は、NHK (日本放送協会) が作成した緊急地震速報用のアラーム音「NHK チャイム音」を使用しています。</p> <p>[予報の試験通報内容(TYPE1 の場合)]          震度 4 の地震の揺れが 30 秒後に到達する場合の音声出力されません。</p>	時間	音声内容	30 秒前	警報アラーム音♪、地震警報、30 秒前、震度 5 強	20 秒前	警報アラーム音♪、地震警報、20 秒前、震度 5 強	10 秒前	10	9 秒前～0 秒	9、8、7、6、5、4、3、2、1、0 (カウントダウン)	0 秒以降	地震警報、震度 5 強、警報アラーム音♪、強い揺れに警戒してください。※指定回数繰り返します。
時間	音声内容													
30 秒前	警報アラーム音♪、地震警報、30 秒前、震度 5 強													
20 秒前	警報アラーム音♪、地震警報、20 秒前、震度 5 強													
10 秒前	10													
9 秒前～0 秒	9、8、7、6、5、4、3、2、1、0 (カウントダウン)													
0 秒以降	地震警報、震度 5 強、警報アラーム音♪、強い揺れに警戒してください。※指定回数繰り返します。													

## (17) [緊急地震速報精度] 画面

この画面では本装置が使用する緊急地震速報の精度と予測手法を指定します。

緊急地震速報の精度は、震源情報の精度を意味し、IPF 法による予測処理に影響します。震源情報を得るための方法としてテリトリー法とグリッドサーチ法が存在しますが、方法により得られる震源情報の精度が異なります。テリトリー法およびグリッドサーチ法の詳細な説明については「7-5 月次報告書の見方」をご参照下さい。

緊急地震速報の予測手法は、本装置が震度等を求めるときに使用する手法を指定します。IPF 法は震源の情報を元に予測し、PLUM 法は新しく 2018 年 3 月 22 日から導入された手法で、近隣の実際の揺れを元に予測します。IPF 法では計算により“震度と猶予秒数”を求められますが、PLUM 法では“震度のみ”を求められます。得られる結果に違いがあることにご注意ください。

端末管理画面

## 緊急地震速報設定

### 緊急地震速報精度

**震央の確からしさ**  
(震源の真上の地表点)

IPF法 (1点) 以上  
 IPF法 (2点) 以上 1  
 IPF法 (3点/4点) 以上  
 IPF法 (5点) 以上

**震源深さの確からしさ**

IPF法 (1点) 以上  
 IPF法 (2点) 以上 2  
 IPF法 (3点/4点) 以上  
 IPF法 (5点) 以上

設定

### 緊急地震速報予測手法

**予測手法**

IPF法+PLUM法 (ハイブリッド方式) 3  
 IPF法のみ

設定 4

No.	名称	説明
①	震央の確からしさ (震源の真上の地表点)	震央の確からしさに対する地震観測点数を選択します。 地震観測点数が多いと緊急地震速報の精度が高まります。本装置は、ここで指定した観測点未満の地震情報については、予測震度計算を行いません。

# J

		工場出荷時の設定値は、「IPF 法(2 点)以上」です。  ※「IPF 法(1 点)」と「IPF 法(2 点)」はテリトリー法を、「IPF(3 点/4 点)以上」と「IPF 法(5 点)以上」はグリッドサーチ法を意味します。
②	震源深さの確からしさ	震源深さの確からしさに対する地震観測点数を選択します。 この観測点数が多いと緊急地震速報の精度が高まります。本装置は、ここで指定した観測点未満の地震情報については、予測震度計算を行いません。  工場出荷時の設定値は、「IPF 法(2 点)以上」です。  ※「IPF 法(1 点)」と「IPF 法(2 点)」はテリトリー法を、「IPF(3 点/4 点)以上」と「IPF 法(5 点)以上」はグリッドサーチ法を意味します。
③	予測手法	IPF 法+PLUM 法(ハイブリッド方式): 通報判定に使用する震度を IPF 法と PLUM 法から求め、震度階級が高い方を通報判定処理に使用します。 PLUM 法で求められた震度による通報処理では震度のみを通報処理にてお知らせします。  IPF 法のみ: 通報判定に使用する震度を IPF 法(従来法)だけを使用して求めます。PLUM 法と比較すると予測される震度の精度が若干劣る場合がありますが、地震波が到達するまでの時間を通報処理にてお知らせすることができます。
④	設定	指定された内容を設定します。

## 【補足説明】

150 Km 以上深いところが震源地の場合は、通報震度に達しても通報しません。